

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 29 日

基本目標No.	5	共通目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
主管課名	環境安全課	主管課長名	小林 義夫
関係課名	-		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみに対する意識が高まり、減量化、リサイクルの取組みが進むことにより、ごみが減少しています。 ・効率的なごみの収集・運搬・処理体制が確立し、廃棄物が適正に処理されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動に取り組みます。 ・ポイ捨てなど不法投棄はしません。 ・事業所は、ごみの減量に取り組み、自らの責任において処理します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・リデュース、リユース、リサイクルの3R等の活動が市内全家庭に浸透するよう啓発活動を行い、その徹底を図ります。 ・効率的かつ適正にごみの収集・運搬・処理を行います。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物の集団回収を行います。

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	-	-	8 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	6 (6)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-	2 (2)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-				
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	-	-				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	-	-	250,517	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	224,496			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-	26,021			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-				
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	-	-				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	-	-	16			
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	-	-	2,840				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	-	-	12,493				
F. トータルコスト (B+E)	千円	-	-	263,010	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の							
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	-	-	5,653			
	同上							
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	-	-	282			
同上								
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	-	-	5,935				
参考	魚津市の人口	人	-	-	44,315			

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
-------	----	-----	-----------------

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	ごみの発生抑制と減量化の推進		市民(各家庭)、事業者への啓発を通じて、さらなるごみの発生抑制と減量・分別の徹底を図ります。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	ごみの発生抑制と減量化の推進		廃棄物の排出抑制と分別を徹底するとともに、適正処理を進めます。								
	ごみ集積場及び市現物集積場設置補助		ごみの適正排出、資源物の分別のため集積場の設置の補助を行います。								
	基本事業①の目的【意図】		持続可能かつ健全な財政運営を行います。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量		g	601.7	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	572.0	542.0
					596.8	591.8	586.9	581.9	577.0		
					585.4	596.2	604.1				
	事業系一般廃棄物の量		t/年	4,902	4,865	4,832	4,798	4,764	4,731	4,700	4,400
					4,853	4,833	4,814				
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	リサイクルの推進		各家庭から出されるごみの減量と合わせ、市民が資源物を排出しやすい環境を整え、容器包装等の資源物のリサイクルを推進します。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	資源物収集運搬事業		資源物の効率的・効果的な収集体制を確立します。								
	常設資源物ステーション整備事業		市民が資源物を排出しやすい環境を整えるため、常設資源物ステーションの整備を行います。								
	使用済み小型家電のリサイクル		使用済み小型家電はレアメタルなど希少金属資源を含むため、その回収とリサイクルを行います。								
	基本事業②の目的【意図】		ごみ問題に対する意識が高まり、リサイクルに取り組んでいます。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	資源物収集量		t/年	1,944	2,003	2,063	2,122	2,181	2,241	2,300	2,800
					2,007	2,063	2,072				
	分別リサイクル率		%	16.23	16.9	17.5	18.1	18.7	19.4	20.0	25.0
					17.2	17.5	17.4				
	基本事業名③		事業内容(活動内容)								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業③の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の排出量(家庭系)の実績値は、22年度585g、23年度596g、24年度604gであり、ほぼ目標値となっています。 資源リサイクル量は、前年度2.063t、本年度2.072t。分別リサイクル率は17.4%となり、横ばい状態で推移しています。 		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	<p>【一般廃棄物の排出量(家庭系)】魚津市9.813t、滑川市7.356t、黒部市10.266t 【1人年間排出量(家庭系)】魚津市220.5kg、滑川市217kg、黒部市240.6kg 【資源分別リサイクル率】魚津市17.4%、滑川市20.7%、黒部市11.6% 1人あたりの排出量を近隣の平均と比較すると中位です。また、資源リサイクル率も中位です。</p>		
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)		
	環境美化、ごみの減量化、リサイクル活動の取り組みなど、住民との協働により着実に進んでおり、市民からも一定の評価がなされています。しかしながら、さらなるごみの減量化、リサイクル活動の取り組みを推進する必要があります。		
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ごみの発生抑制と減量化の推進 <ul style="list-style-type: none"> 過剰包装の抑制、使い捨て商品購入の減、ごみの発生抑制・排出抑制など3R活動の啓発を行いました。 マイバッグ運動の推進、リユースカップ等の利用、マイ箸運動の推進しました。 ◇リサイクルの推進 <ul style="list-style-type: none"> 常設資源物ステーションの有効利用 資源としての再利用の促進 地域及び団体へのリサイクル活動への支援 ダンボールコンポストの普及・啓発 使用済み小型家電のリサイクルステーションの設置 などを行いました。 		
	3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)		
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ごみの発生抑制と減量化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化やリサイクルに対する意識は向上していますが、排出量は横ばいの状況であるため、3R活動の普及・啓発(啓発看板の設置)、マイバッグ運動によるレジ袋の削減、生ごみの減量化のためのダンボールコンポストの普及・啓発を行っています。 ◆リサイクルの推進 <ul style="list-style-type: none"> 資源物の回収割合が高い常設資源物ステーションについては、平成25年度に加積地内に新設します。また、今後の新設について協議、検討を進めていきます。 ビン、缶、ペットボトル、トレイの分別を徹底し、資源物収集運搬事業、資源物集団回収事業を推進していきます。 ◆不法投棄対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 市内各地で見られる不法投棄に対しては、環境巡視員、環境キーパーによる監視や地区防犯パトロール員の協力による巡視を強化するとともに、関係地区住民との協働による撤去作業を推進していきます。 		

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化やリサイクル活動などの取り組みが、市民の協力により着実に進んでいます。しかしながら、一部の市民においては未だ減量化等に対する意識が低く、リサイクル可能なものがゴミとして排出されています。さらに工夫してごみの発生抑制、減量化、リサイクルの推進に努めていく必要があります。 西部地区では、(株)魚津清掃公社施設内の常設資源物ステーションが拡充されてきたことから、当面の間、新たな設置の必要はないと考えます。 	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルに関する啓発活動や情報提供に努め、ごみの発生抑制、減量化及びリサイクルの推進を図ります。 資源物の効果的、効率的な収集体制の構築を図ります。 	